

関係者各位

2022年(令和 4年)1月 13 日

社会福祉法人 広島聴覚障害者福祉会
アイラブ作業所 施設長 沖本浩美

新型コロナウイルス感染症の発生からの経過報告 第3報

平素は、当作業所の運営に御理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

11日(火)以降の経過報告です。

先日12日(水)と本日13日(木)新たに当作業所の職員2名、ヘルパーステーションの職員1名、仲間1名計4名の新型コロナウイルス陽性者が判明しました。これで今の時点で法人内では計6名の陽性者が判明したことになります。中保健センターの判断では当作業所内に濃厚接触者に該当する者はなく、クラスターにも当てはまらないとのことでした。今は1月以降に通勤通所した全職員、全仲間のPCR検査結果とともに感染状況を確認。再開への準備も進めております。今後については、広島市障害自立支援課や中区保健センターの指導のもと、対策措置を実施し、下記の対応とさせていただきます。

記

○本作業所職員及び、仲間の皆様のPCR調査の結果が判明するまでの間、当作業所を休所致します。再開時期については、今後の皆さんのPCR検査の状況を見て判断して参ります。

○中保健センターより「アイラブ作業所内での濃厚接触者はなし」との判断を受けましたが、「その他の接触者」ということで、引き続き作業所職員及び仲間の皆様には自宅待機、PCR検査と健康観察をお願いします。

○仲間の皆様には引き続き自宅での健康観察を続けていただきますが、発熱・咳等の症状のある場合、速やかに作業所携帯(070—1735—7027)までご連絡ください。すでにFAX配付をしております、コロナウイルス健康観察表をご活用下さい。

仲間の皆様、ご家族、関係者の皆様、並びに、地域の皆様には、多大なるご心配、ご迷惑をお掛け致しますが、今後も、感染の拡大防止に取り組んでまいりますので、何卒、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◎第4報は1月16日(日)頃になる予定です。

